

H17

赤池教授

次の用語について説明せよ。

(A) SDA (B) SSRI

次の薬物の作用機序、臨床適用について述べよ。

(A) レボドパ
(B) ドネペジル
(C) フェノバルビタール

西川助教授（説明は簡単に）

生体利用率と血中濃度の個体差について説明せよ。

単代謝経路薬物と複経路代謝経路薬物で体内動態研究、臨床での投与する際の注意点・副作用、種差、代謝物による毒性について説明せよ。

TTS は経口投与に適さない薬物を投与できる、コンプライアンスの向上が期待できるなどが期待できる。

TTS による投与での薬物動態学的特長を血中濃度に関するグラフなどを書いて説明せよ。

徐放性製剤を使用するときに注意せねばならない Dose Dumping について説明せよ。

リツキマブの作用機序、代謝経路について説明せよ。

H16

赤池教授

DA 作動性ニューロンを分類せよ。

うつ病第一選択薬について説明せよ。

アルツハイマー病治療薬について説明せよ。

レボドパ療法について説明せよ。DA を用いない理由は？

抗てんかん薬を分類し、例を挙げよ。

西川助教授

麻酔薬ペントバルビタールに関するグラフを見てラットの固体差やその他の要因と薬物濃度について考察せよ。

代謝における薬物相互作用の例

TTS の安全性学での利点

分子標的医薬の利点、欠点

Dose-dumping について

H15

赤池教授

統合失調症における陽性症状に關与する神経伝達物質と受容体について説明せよ。

フルボキサミンの臨床適用と作用機序について述べよ。

レボドパの臨床適用と作用機序について述べよ。

ドネペジルの臨床適用と作用機序について述べよ。

フェノバルビタールの臨床適用と作用機序について述べよ。

西川助教授

麻酔薬ペントバルビタールに関するグラフを見てラットの固体差やその他の要因と薬物濃度について考察せよ。

医薬品の有効性、安全性について代謝による薬物間相互作用について具体例を挙げて説明せよ。

次の語句を説明せよ。

A) 分子標的治療薬
B) Dose dumping

H14

赤池教授

抗精神病薬でフェノチアジン誘導体とブチロフェノン誘導体の作用機序を比較して述べよ。

次の薬物の作用・副作用について説明せよ。

(A) イミプラミン
(B) 炭酸リチウム
(C) レボドパ
(D) トリヘキシフェニジル
(E) ドネペジル

橋田教授

標準化 AUC のグラフを見て薬物差、種差について考察

次の語句を説明せよ。

(A) 時間薬物治療(疾患の日周リズム変化)
(B) 代謝における薬物時間相互作用
(C) 遺伝子導入ベクター

H11

ベンゾジアゼピン誘導体の薬理作用とその作用機序について述べよ。

抗精神病薬についてフェノチアジン誘導体とブチロ

フェノン誘導体の薬理作用の違いについて代表的な薬物を挙げて説明せよ。

ストリキニンによって引き起こされる痙攣の特徴とその作用機序について述べよ。

レボドパの薬理作用とその作用機序について説明せよ。

医薬品の安全性に関して代謝による薬物間相互作用について具体例を挙げて説明せよ。

抗癌剤の効果の増強と副作用の軽減を目的とした製剤ターゲッティングは腫瘍ターゲッティングと言われる。この考え方と方法論について例を挙げて説明せよ。

次の語句について説明せよ。

- A) 時間薬物治療（疾患の日リズム現象）
- B) 無針注射器
- C) 遺伝子導入ベクター

H17 小テスト

SDA について説明せよ。

SSRI について説明せよ。

レボドパの作用機序について説明せよ。

ドネペジルの作用機序を説明せよ。

フェノバルビタールの臨床適用と作用機序について説明せよ。